

競 技 要 項 ※ (必ず読んでください)

- 1 日 程
- 役員集合 … 午前7時50分 (コントローラーを含む)
会場準備 … 午前8時05分
コントローラー打合わせ … 午前8時20分
チーム集合 (受付) … 午前8時30分
監督打合せ … 午前8時40分 (各コートごとコントローラー中心に)
チーム整列 … 午前8時55分
開 始 式 … 午前9時00分 (各会場ごと)
競技開始 … 午前9時30分
閉会式・表彰式 … 競技終了後、コート毎に行う
- 2 競技規則 2026年度 (財団法人)日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール(小学生)競技規則を用いる。(一部山梨ルールを適応)
- ・ コートの大きさ … 13.4m×6.1m (バドミントンコート) ・ ネットの高さ … 1.8m
 - ・ フリーポジション制 ・ ラリーポイント制 (15点)
 - ・ フローターサーブ、サイドサーブ (打点が腰をこえるもの) 等は禁止とする。
(山梨ルール)
 - ・ 通常4人制だが、小学2年生以下で編成するチームは4～6人制を認める。
- 3 競技方法
- ・ 1つのコートに2つのパートを入れ、各パートを交互に試合を行う。
 - ・ 15点・3セットマッチとし、どのチームも原則3試合ずつ試合を行う。
 - ・ デュース2点差をつけるか、17点先取のチームを勝ちとする。
- 4 試合順序
- ・ 競技組合せ表に記載の丸数字を各コートの試合順とする。
- 5 競技について
- 1) 4チームで1パートの場合 (1コート、6試合)
ア) 4チームによるリーグ戦を行い、順位を決める。
 - 2) 6チームで1パートの場合 (1コート、9試合)
ア) 3チームずつでリーグ戦をし、各パートの1位、2位、3位同士で順位決定戦を行う。
 - 3) 順位決めについて、同じ勝敗の場合
ア) セット率の大きいチームを上位とする。
※ セット率 (総得セット ÷ 総失セット)
イ) さらに同率の場合は、得点率の大きいチームを上位とする。
※ 得点率 (総得点数 ÷ 総失点数)
 - 4) 公式練習は、全試合とも合同で5分間行うこととする。
 - 5) 試合球は、モルテン社製のビニール製で日本バレーボール協会制定の重さ100g、円周78±1cmのものを使う。

- 6 競技運営
- ・審判・補助役員は各チーム付きの5・6年生の子ども及び指導者が運営する。(監督、コーチ、マネージャーは、マークをつける)
 - ・各コートの第1試合の審判については、6チームで1パート(△△のコート)のところは第6試合の両チームで、それ以降は、試合を行った両チームが協力して次の試合の審判を行うものとする。
4チームで1パート(□のコート)のところは、空きの両チームで協力して行う。
- ※ ゲーム中コートサイドには、ベンチスタッフ(監督、コーチ、マネージャー)と選手以外は立ち入ることができない。それ以外の関係者は、2階の応援席等で応援する。(安全確保のため)
- 7 表彰
- ・各パートで1位・2位のチームを表彰する。
1位・2位チームには賞状とボールを授与する。
- 8 その他
- ・競技に支障がないものを着用すること。また、胸と背中に1番から7番までの番号を付けることが望ましい。
 - ・チーム名プレートは各チームで用意すること。(7文字程度以内)

* 主なルール

- ・コート…バドミントンのコート(外側のライン)
- ・ネットの高さ…1.8M
- ・ボール…モルテン社のビニール製100g球
- ・4年生以下4人による(混合可)フリーポジション制。ただし2年生以下で構成される場合は4～6人によるフリーポジション制とする。
- ・ラリーポイント15点制、3セットマッチで行う。最高17点まで。
- ・6人制ルールに準ずるが、ブロックのオーバーネットは反則となる
- ・サーブは、ショートサービスラインより後方で行う。アンダーサーブとする。それ以外は反則とする。
ボールのヒット位置は腰の位置より下(山梨ルール)→1回目は注意し2日目以降は反則とする。
- ・ネットインサーブは、反則となる。
- ・ベンチスタッフ全員マークをつける。

* コントローラーの役割

- ・各コートに配置され、審判やゲームをコントロールする。
- ・朝のコントローラー打合せに参加し、各コートでコントローラー監督打合せを進める。
- ・特に試合終了から次の試合の回しつけをスムーズに行う。
- ・試合結果を審判に記録席に報告させる。
- ・試合終了後、コート毎表彰式を行い、賞状・ウイニングボールを渡す。
- ・コントローラーの服装は、紺の半袖ポロシャツを着用する。